

MiraQ LETTER

一般社団法人未来に輝く企業づくり研究会

VOL.

14

2026.05

Introduction

定例研究会第14回が開催！

2026年5月14日(木) MiraQ定例研究会の第14回が開催されました。今回は、現地18名、オンライン9名の方にご参加いただきました！今回のテーマは「経営者の責任」。このテーマだけ聞くと、「自分は経営者ではないしな…」と感じる方もいるかもしれません。ただ今回の研究会では、“人生は誰もが自分自身の経営者である”という視点から、立場を超えて「責任」や「当事者意識」について考える時間となりました。



Discussion①

「経営者の責任」を自分の言葉で言い換える

動画の中では、「責任とは未来を選択し、引き受ける覚悟」という言葉がありました。その言葉をもとに、それぞれの立場や仕事に当てはめて、「自分にとっての責任とは何か」を言葉にしていきました。私自身は、「自社と顧問先の未来を輝かせるために、自らが理想の体現者となり、進むべき方向へ舵を切り続けること」と表現しました。ディスカッションの中でも、・自分が会社の顔である・全てを最終的に決める覚悟・下の社員が挑戦できるフィールドを作る・安心して失敗できる環境を作るなど、様々な意見が出ていました。

Discussion②

当事者として明日からできることは何だろう

2つ目のワークでは、“当事者意識”について話し合いました。個人的に印象的だったのは、「最後は自分で決めた、という感覚を持つ」という話です。周囲から助言をもらうことはあっても、最後に決めるのは自分。だからこそ、「あの人が言ったから」ではなく、「自分で選んだ」という感覚を持つことが大切なのだと思います。

【参加者の意見】

「自分の人生は自分が決める、人生の経営者なんだと考えると、必然的に当事者意識を持てるようになると思いました。」Jさん
「当事者意識のゴールについて、チーム内では『自分が持つだけでなく、周りの人にも持ってもらおうことじゃないか』と言う話になった。そのために必要なのは会社や業務単位で『何が当事者意識なのか』を擦り合わせる。また、1番簡単な当事者意識として当てはまるのは、リアクションや同意をする、しないといった『参加する姿勢』なのだと思います。」Kさん

Discussion③

人生の経営者として生きる

3つ目のワークでは、「人生の経営者」という視点から、自分自身の選択について考えました。私自身は、やらされていることは、本当は存在しないと思っています。たとえ誰かに「あれをやって」と言われても、最終的に行動するのは自分自身。だから、全ては自分が選んでいることなのだと思います。逆に、やらされていると思うと、うまくいかなかった時に他責になりやすいように感じます。だからこそ、人間関係、学び、健康、仕事 どれにおいても、“自分で選んでいる”という感覚を持っていたいと思っています。

【参加者の意見】

「他責にしているつもりはなかったが、自分が決めているという意識もまた持てていなかった」Kさん
「経営者、管理者、現場担当者、それぞれの立場で発生する責任は自分が主体である事。その結果が他者に影響する、そのために自己発信力を高めて前向きな発言・行動をおこなう」Kさん
「そもそも人の話を聞くのが苦手で、別のことをすぐ考える(ワードを切り取りそこから考えを展開する)癖がありますので、せめて社員には伝わるように、興味を持ってもらえるようにしたいです。」Bさん

今回も、各グループでかなり熱量の高いディスカッションが行われていました。特に印象的だったのは、“経営者かどうか”ではなく、“自分で選択している感覚を持っているか”という部分に、多くの話が集まっていたことです。また、「自分は当事者意識を持っている」だけで終わるのではなく、「どうすれば周囲にも当事者意識を持ってもらえるか」という話に発展していたグループもあり、とても深い議論になっていました。

様々な立場・年齢・業種の方が参加されていたからこそ、自分だけでは気付けない視点に触れられる、とても良い時間になったと思います。

次回案内

【テーマ】「経営者の責任」

【日時】2026年5月14日(木) 16:00~18:00

【会場】エル・おおさか 南101 もしくは オンライン

MiraQの定例研究会も2年目に突入しました。4月から事前学習動画に加えて、ワークシートによる事前課題にも取り組んでいただいております。これはより実践を意識した取り組みとなります。どうなるか心配していましたが、参加者の皆さんも楽しんで取り組んでいたようですので、今後も充実させていきます！

